

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【公表番号】特表 2011-510128 (P2011-510128A)

【公表日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報 2011-013

【出願番号】特願 2010-542600 (P2010-542600)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/50 (2006.01)

C 0 8 F 255/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/50

C 0 8 F 255/02

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 1 月 4 日 (2012.1.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の成分：

(A) 少なくとも 1 種の直鎖状オレフィンポリマー；

(B) 成分 (A) の質量に対して、0.05 ~ 2 % の少なくとも 1 種の光開始剤；及び

(C) 成分 (A) の質量に対して、0.05 ~ 5 % の 1 つ以上の二重結合を含む少なくとも 1 種の補助添加剤を含む組成物。

【請求項 2】

成分 (A) が、ポリエチレンホモポリマー、ポリプロピレンホモポリマー、ポリエチレンコポリマー及びポリプロピレンコポリマーからなる群から選択される少なくとも 1 種の直鎖状オレフィンポリマーである、請求項 1 記載の組成物。

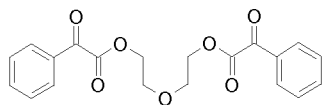
【請求項 3】

成分 (B) が、フェニルグリオキシレート誘導体、アシルホスフィンオキシド誘導体及びベンゾフェノン誘導体からなる群から選択される少なくとも 1 種の光開始剤である、請求項 1 又は 2 記載の組成物。

【請求項 4】

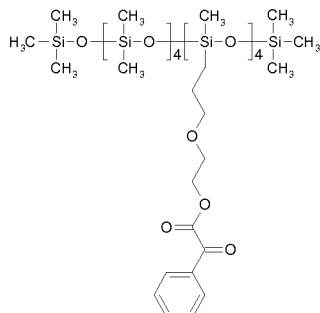
成分 (B) が、以下の式

【化 1】



のフェニルグリオキシレート誘導体、以下の式

【化 2】



のフェニルグリオキシレート誘導体、ビス〔 2 , 4 , 6 - トリメチルベンゾイル 〕 - フェニルホスフィンオキシド及び 4 - ドデシルベンゾイルベンゼンからなる群から選択される少なくとも 1 種の光開始剤である、請求項 1 又は 2 記載の組成物。

【請求項 5】

成分 (C) が、エテン誘導体、プロペン誘導体、アクリル酸誘導体、メタクリル酸誘導体及びジエン誘導体からなる群から選択される少なくとも 1 種の補助添加剤である、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

成分 (C) が、トリアリルシアヌレート及びトリメチロールプロパントリメタクリレートからなる群から選択される少なくとも 1 種の補助添加剤である、請求項 1 又は 4 記載の組成物。

【請求項 7】

ホスファイト、ホスホナイト、フェノール系酸化防止剤及び 2 , 2 , 6 , 6 - テトラメチルピペリジン誘導体からなる群から選択される通常の添加剤をさらに含む、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項で定義される成分 (A)、(B) 及び (C) の反応によって得られる修飾オレフィンポリマー樹脂。

【請求項 9】

反応が、紫外線照射によって開始される、請求項 8 記載の修飾オレフィンポリマー樹脂。

【請求項 10】

請求項 8 又は 9 記載の修飾オレフィンポリマー樹脂を含む成形品もしくは押出品。

【請求項 11】

請求項 8 又は 9 記載の修飾オレフィンポリマー樹脂を含む、発泡体、熱形成品、インフレーションフィルム、中空成形品、繊維、フィラメント又は押出コーティング。

【請求項 12】

ホスファイト、ホスホナイト、フェノール系酸化防止剤及び 2 , 2 , 6 , 6 - テトラメチルピペリジン誘導体からなる群から選択される通常の添加剤をさらに含む、請求項 8 又は 9 記載の修飾オレフィンポリマー樹脂。

【請求項 13】

修飾オレフィンポリマー樹脂の製造方法であって、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項で定義される成分 (A)、(B) 及び (C) を含む組成物で作られ且つ 3 mm 以下の厚さを有する固体ポリマー物品を製造し；このポリマー物品を、200 ~ 800 nm の光に、0.5 ~ 10 J / cm² の放射線量、初期ポリマー物品の融点より低い温度で露光することを含む、修飾オレフィンポリマー樹脂の製造方法。

【請求項 14】

ポリマー物品がペレットの形である、請求項 13 記載の方法。

【請求項 15】

光が 200 ~ 600 nm の波長を有する、請求項 13 又は 14 記載の方法。

【請求項 16】

放射線量が $0.5 \sim 10 \text{ J/cm}^2$ である、請求項 15 記載の方法。

【請求項 17】

直鎖状オレフィンポリマーの溶融剛性及び／又は溶融伸長性を向上させるための、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項で定義される成分 (B) 及び (C) を含む混合物の使用。

【請求項 18】

以下の成分：

(A) 少なくとも 1 種の直鎖状オレフィンポリマー；

(B) 成分 (A) の質量に対して、 $0.05 \sim 2\%$ の少なくとも 1 種の光開始剤；及び

(C) 成分 (A) の質量に対して、 $0.05 \sim 5\%$ の 1 つ以上の二重結合を含む少なくとも 1 種の補助添加剤

を含み、非 UV 照射組成物の F_{break} 及び／又は v_{break} に対して、少なくとも 15% の溶融破断時の延伸力 F_{break} の改善及び／又は少なくとも 15% の対応する引落速度 v_{break} の改善を特徴とする、UV 照射組成物。